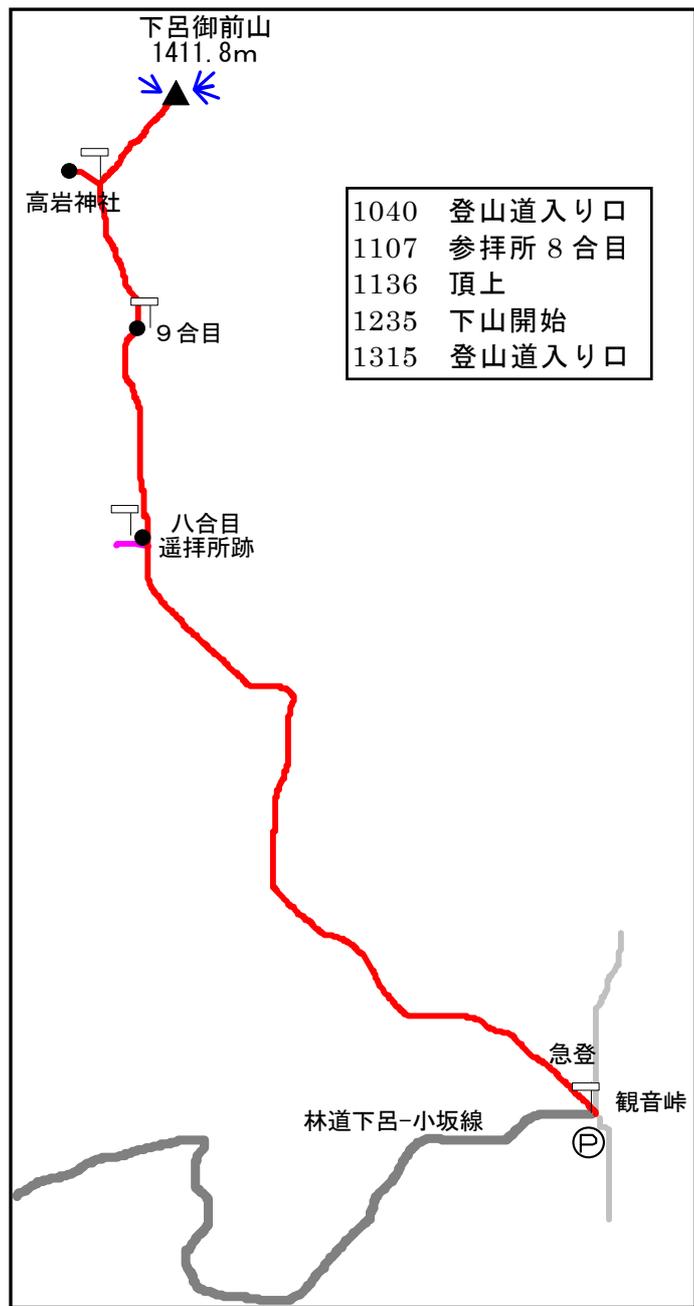


# げろこせんやま 下呂御前山 1411.8m

平成 20 年 12 月 13 日



本格的な雪になる前に、雪をかぶった御嶽山が見たくなり、適当な山を探してみる。Webで探していると、ふと先日行った白草山が思い出され、近くの下呂御前山に行くことにする。

さらに、調べていくと普通は大洞から登るようだが、ちょっとずるだが観音峠からも登れるようで、こちらからは1時間ほどでいけることがわかった。それなら、湯ヶ峰もついでに登れそうである。下呂周辺の3つの山の制覇を目指すことにした。ただ、不安なことは地図で見ると付近の林道が複雑で、観音峠までいけるかどうかである。

多少不安を感じながら、家を出発する。国道41号をひたすら北へ向かう。下呂市街への分岐を過ぎ、バイパスの「森」の交差点で右折し、下呂温泉合掌村を目指す。道なりにぐるりと回る感じだが、合掌村を回りこみ、リハトピアの建設場所を左手に見て、直進する。次に目指すは「下呂動物病院」。すぐに左への案内があり、左折すると、分岐がある。左が動物病院で、右が林道下呂-小坂線である。林道表示の下に「湯ヶ峰ハイキ



ングコース」の矢印案内がある。

右に進むとすぐに分岐があり、案内板がある。下呂-小坂線の案内で、観音峠の見晴台から名古屋のツインタワーが見えることを知るが、多少疑問に思いながら、右折する。

「志むら」(<http://www.geroyama.com/ryouri.html>)の案内があることも確認する。この看板もチェックしながら進む。

車線が狭くなり、対向車に注意しながら進む。林道らしくなり、「志むら」の看板に従い川を渡り、「志むら」に着く。





「志むら」に到着。古民家の店で高いかな・・・。今日は見るだけ。少し進むとT字路になる。角に「湯ヶ峰ハイキングコース」の案内があるので、それに従って左折する。すると、再度T字路となる。

この道路が、広域基幹林道で、反対側に案内板がある。左が「下呂御前山登山道」、右が「湯ヶ峰ハイキングコース」となっている。下呂御前山に行くのだが、反対の右に進路を進める。



しばらく走ると、直進「舞台峠」、左折「小坂」の表示が出る。案内には、直進「湯ヶ峰ハイキングコース」左折「観音峠」とあるので、左折するが、まだ4.2キロある。



途中にT字路があり、左折「下呂御前山登山道」右折「観音峠」の表示がある。しかし、左折は未舗装で、チェーンがかかっている入れない。入れても目指すは観音峠。直進する。この箇所と他にも一箇所グレーチングがずれている場所があるので、注意が必要である。また、落石もかなりある。



突然、舗装路が途切れる。ここが観音峠である。右手に駐車スペースと東屋がある。立派な石碑もある。



東屋の表示には、名古屋のツインタワーが見えるように書いてあるが、あいにく雲が多くはっきりしない。鷹の渡りのコースにもなっているようで、もっと早い時期ならば、観察する人でにぎわっているのかな。



準備をして、10時40分に出発する。いきなり急登で、えらい。しかも、まっすぐの道であるので、見通しが効くが、それが逆に辛い。まあ、ゆっくりと進むことにする。



急坂を登りきると、右手が開けて雪をかぶった山が見える。御岳かと思ったが、山容が違う。乗鞍かと思い、視線をやや後ろに向けると、御嶽がありました。でも、木が邪魔をしている。登山道で、視界が開けるのはこの箇所ぐらいで、後は木に囲まれている。

ピークを過ぎると急坂を下ることになる。帰りにはこの道を登るのだろうと思いつつ、下っていく。下りきると、開けた感じのする場所に出る。案内標識があり、ここが8合目であり、参拝所跡であることを確認する。大洞からの登山道も確認し、小休止する。11時7分。まだ、30分ぐらいしかあるしていないが、汗が出る。この時期に汗が出るほど、今日は暖かい。



少し休み、またまた直線の坂を上る。登りきったところが、9合目である。11時20分。いったんここから下り、再度上りになる。

左手に、高岩(たかいわす)神社への分岐がある。絶壁の上に祠がある。祠からは、白山や集落が見える。11時28分



岩を巻いて登ると頂上となる。11時36分。頂上には立派な石標があった。御嶽山がきれいだ。



乗鞍や奥穂高・笠ヶ岳も雪をかぶって、しっかり見える。所有のデジカメの性能では今一步。風もほとんどなく、日当たりもよく寒くは感じない。おにぎりも頬張りながら、御嶽を眺める。だんだんと雲もなくなり、青空になってきた。去り難いが、湯ヶ峰も予定しているので、12時35分に下山を開始する。

下る途中で、登って見える方とすれ違う。今日出会ったのはこの人のみ。来た道をそのまま戻り、13時15分に、登山道入り口に戻る。

広域基幹林道のT字路まで戻り、舞台峠方面に曲がり、湯ヶ峰を目指す。